

## [056\_01/02] 経済学研究表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/4492908>

---

出版情報：経済学研究. 56 (1/2), 1991-03-10. 九州大学経済学会  
バージョン：  
権利関係：

## 深町郁彌教授略歴

本籍地 福岡県甘木市屋形原983番地の2  
現住所 福岡市城南区友丘5丁目9番24号

- 昭和4年9月11日 福岡県山田市に生まれる  
福岡県立八女中学校、長崎経済専門学校を経て、昭和26年4月九州大学経済学部経済学科入学
- 昭和29年3月 九州大学経済学部経済学科卒業、同年4月九州大学大学院経済学研究科入学
- 昭和34年3月 九州大学大学院経済学研究科単位取得退学、同年4月、九州大学経済学部助手
- 昭和36年4月 九州大学経済学部助教授
- 昭和49年4月15日 経済学博士学位を授与される(論文『所有と信用』)、同年5月1日、九州大学経済学部教授、貨幣論及び金融論講座を担当
- 昭和50年5月8日～ アメリカ合衆国へ出張  
同年6月19日
- 昭和51年10月～ 九州大学学生部長  
昭和53年9月
- 昭和54年11月～ 文部省在外研究員としてイギリス、アメリカ合衆国へ出張  
昭和55年10月
- 昭和56年4月～ 九州大学評議員併任  
昭和58年3月
- 昭和63年7月～ 九州大学経済学部長に任ぜられる  
平成2年6月

《学会活動》平成2年末現在

金融学会理事、信用理論研究会常任理事、経済理論学会理事

## 深町郁彌教授 著書・論文目録

### 著 書

- |          |                          |           |
|----------|--------------------------|-----------|
| 1971年 6月 | 『所有と信用—貨幣・信用論の体系—』       | 日 本 評 論 社 |
| 1981年 6月 | 『現代資本主義と国際通貨』（現代資本主義分析9） | 岩 波 書 店   |

### 共編著

- |             |                  |          |
|-------------|------------------|----------|
| 1976年11月    | 『マルクス経済学の基礎知識』   | 有 斐 閣    |
| 1979年10～12月 | 『解説資本論』 I・II・III | 有 斐 閣    |
| 1985年 4月    | 『資本論体系6 利子・信用』   | 有 斐 閣    |
| 1991年 1月    | 『現代貨幣信用論』        | 名古屋大学出版会 |

### 論 文

- |          |   |   |
|----------|---|---|
| 1958年 2月 | 「金属流通と紙券流通—リカードゥ貨幣論の一考察—」                 | 経 済 論 究 第 3 号<br>(九州大学大学院)                    |
| 1958年12月 | 「リカードゥの紙券減価について」                          | 金 融 経 済 第 53 号<br>(金融経済研究所)                   |
| 1959年 7月 | 「兌換と発券の調整—リカードゥ発券制度論の問題点—」                | 経 済 学 研 究 第 25 卷 第 1 号<br>(九州大学)              |
| 1959年 9月 | 「リカードゥの金融政策について」                          | バ ン キ ン グ 第 138 号<br>(産業経済社)                  |
| 1961年 5月 | 「九州の金融構造」                                 | 金融ジャーナル 第2巻第5号<br>(金融ジャーナル社)                  |
| 1961年10月 | 「オウバアストーンの通貨論」                            | 経 済 学 研 究 第 27 卷 第 4 号<br>(九州大学)              |
| 1962年 4月 | 「オウバアストーンの通貨統制論」                          | 経 済 学 研 究 第 26 卷 第 5・6 合併号<br>(向坂逸郎教授還暦記念論文集) |
| 1962年 5月 | 「トウクの貨幣・信用論 (一)」                          | 経 済 学 研 究 第 28 卷 第 3 号<br>(九州大学)              |
| 1962年10月 | 「トウクの貨幣・信用論 (二)」                          | 経 済 学 研 究 第 28 卷 第 4 号<br>(九州大学)              |
| 1963年10月 | 「イングランド銀行の創設と公信用制度」                       | 経 済 学 研 究 第 29 卷 第 4 号<br>(九州大学)              |
| 1964年 6月 | 「『経済学批判要綱』における貨幣論 (一)—貨幣の形態諸規定の展開を中心として—」 | 経 済 学 研 究 第 30 卷 第 2 号<br>(九州大学)              |
| 1964年 6月 | 「イングランド銀行」                                | 『資 本 論 講 座』<br>遊部久蔵他編 第5分冊<br>青 木 書 店         |

1964年12月	「利子と利子率」	『金融論講座』 川口弘・川合一郎編著 第1巻 有斐閣
1965年4月	「『経済学批判要綱』における貨幣論(二) —貨幣の形態諸規定の展開を中心として—」	経済学研究 第31巻第1号 (九州大学)
1965年9月	「公社債発行論批判」	税経セミナー 第10巻第9号 (税務経理協会)
1966年6月	「商品取扱資本と貨幣取扱資本」	『マルクス経済学体系』II 宇佐美誠次郎他編 有斐閣
1966年6月	「中央銀行と貨幣制度」	同上
1966年6月	「通貨論争」	同上
1966年10月	「『経済学批判要綱』における貨幣論(三) —貨幣の形態諸規定の展開を中心として—」	経済学研究 第32巻第4号 (九州大学)
1967年6月	「中央銀行論序説—貨幣制度と信用制度—」	九州大学経済学部 『40周年記念経済学論文集』
1967年10月	「信用の必然性について —『経済学批判要綱』における展開を中心 に—」	経済学研究 第33巻第3・4合併号 (岡橋保教授還暦記念論文集) (九州大学)
1968年6月	「信用の必然性について」	金融問題研究 II (金融問題研究会)
1968年10月	「資本の再生産過程と信用論—信用の必然性 —」	金融学会報告 第28冊 (金融学会)
1969年2月	「利子生み資本」	『金融論体系』岡橋保編 (岡橋保教授還暦記念論文集) 東出版
1969年2月	「信用制度」	同上
1970年4月	「信用論体系と金融市場(一)」	金融経済 第121号 (金融経済研究所)
1970年6月	「信用論体系と金融市場(二・完)」	金融経済 第122号 (金融経済研究所)
1972年2月	「公信用と信用制度」	経済学研究 第37巻合併号 (九州大学) (高木暢哉教授還暦記念論文集) (のち金融学会編『金融論選 集』第20巻, 1973年11月収録)
1972年4月	「マルクス経済学入門—金融論」	経済セミナー 臨時増刊号 日本評論社
1972年5月	「利子生み資本」	『新マルクス経済学講座』1 島恭彦他編 有斐閣
1972年5月	「擬制資本」	同上
1972年5月	「産業循環と信用」	同上
1972年5月	「信用論体系と証券市場」	証券経済学会年報 第7号 (証券経済学会)
1972年11月	「管理通貨制度論構築の原点」	金融ジャーナル 第13巻第12号 (金融ジャーナル社)

1973年10月	「信用と恐慌」	『経済学史研究』 経済学史学会 西南部会編 ミネルヴァ書房
1974年3月	「管理通貨制度論と信用論(I)」	経済学研究 第39巻第1~6合 併号 (九州大学) (高木幸二郎教授還暦記念論 文集)
1975年9月	「国際金融市場」	『国際金融論入門』 小野朝男・西村閑也編 有斐閣
1975年9月	「価値形態の弁証法—価値形態—」	『資本論物語』 杉原四郎・佐藤金三郎編 有斐閣
1975年9月	「貨幣の謎—貨幣の生成と機能—」	同上
1975年9月	「自己増殖する貨幣—資本の一般的定式—」	同上
1975年9月	「資本の商品化—利子生み資本—」	同上
1975年	「信用制度と金融市場」	金融学会報告 第41号 (金融学会)
1975年12月	「管理通貨制度論と信用論(II)」	経済学研究 第40巻第4・5・6合 併号 (九州大学)
1976年1月	「管理通貨制度と現代資本主義」	『現代の金融資本』 生川栄治編 有斐閣
1976年3月	「消費者信用の展開」	『商業の経済理論』森下二次也編 ミネルヴァ書房
1976年9月	「中央銀行(一)—発券制度の確立と中央銀行—」	『金融論を学ぶ』 川合一郎編 有斐閣
1976年9月	「中央銀行(二)—金融政策の展開と金融市場—」	同上
1976年9月	「信用と恐慌—産業循環と信用制度—」	同上
1977年12月	「『経済学批判』体系と信用論」	『資本論を学ぶ』 V 佐藤金三郎他編 有斐閣
1978年3月	「金本位制度と信用制度」	『信用と外国為替』 松井安信・三木毅編著 (酒井一夫教授退官記念論文集) ミネルヴァ書房
1978年11月	「管理通貨と金融資本」	『現代信用論』(下) 川合一郎編 (川合一郎教授還暦記念論文集) 有斐閣
1980年3月	「私的国際通貨と公的国際通貨」	経済学研究 第45巻第4・5・6合 併号 (九州大学) (都留大治郎教授還暦記念論 文集)
1981年9月	「金融資本と信用制度」 (共同執筆)	『信用論研究入門』 信用理論研究会編 有斐閣
1981年9月	「金融市場」 (共同執筆)	同上
1982年3月	「変動相場制と国際通貨ドル(I)」	経済学研究 第47巻第5・6合 併号 (九州大学) (片山伍一教授還暦記念論 文集)
1982年4月	「変動相場制と国際通貨ドル(II)」	経済学研究 第48巻第1号 (九州大学)

1982年4月	「『川合一郎著作集 第6巻 管理通貨と金融資本』への解説」	川合一郎著作集第6巻 有斐閣
1982年9月	「世界経済の構造と国際通貨」	経済理論学会年報第19集 経済理論学会編 青木書店
1982年12月	「管理通貨制と貨幣資本蓄積の現段階」	金融経済第197号 (金融経済研究所)
1983年1月	「国際通貨ドルと国際的信用制度」	経済研究第34巻第1号 (一橋大学経済研究所)
1983年6月	「変動相場制の回顧と展望」	金融学会報告第56号 (金融学会)
1983年9月	「国際通貨—外国為替制度と国際通貨—」	『マルクス経済学と世界経済』 村岡俊三・奥村茂次編 (木下悦二教授還暦記念論文集) 有斐閣
1985年7月	「『信用と擬制資本』の現代的課題」	信用理論研究第2号 (信用理論研究会)
1986年5月	「アメリカの政策転換に対応する協調システムの構築を」	金融ジャーナル 第27巻第5号 (金融ジャーナル社)
1986年8月	「国際銀行業—アメリカ商業銀行の国際的展開に関連させて—」	『金・外国為替・国際金融』 小野朝男編 ダイヤモンド社 (小野朝男教授還暦記念論文集)
1986年10月	「銀行業の国際化とセキュライゼーション」	金融経済第219号 (金融経済研究所)
1987年1月	「国際通貨と国際銀行業の諸論点—金融理論の最近の発展—」	金融学会報告第63号 (金融学会)
1987年2月	「商業銀行のターム・ローンと金融市場」	経済学研究 第52巻第1~4合併号 経済学部60周年記念論文集 (九州大学)
1987年5月	「金融の証券化と銀行の流動性管理」	証券経済学会報告 第22号 (証券経済学会)
1987年12月	「アメリカの『債務国』への転化とドルの基軸通貨性の侵食」	経済学研究 第53巻第4・5合併号 (九州大学) (大屋祐雪教授還暦記念論文集)
1988年4月	「変動相場制下のドル供給と国際金融システムの不安定性」	証券経済学会年報 第23号 (証券経済学会)
1988年7月	「浮動貨幣資本造出を加速する国際金融システム」	金融ジャーナル 第29巻第7号 (金融ジャーナル社)
1989年7月	「今日の貨幣資本過剰蓄積のシステムと機能」	『経済理論学会年報』第26集 経済理論学会編 青木書店
1989年3月	“Structural Change of International Capital Market Flows in a Historical Perspective”	H. W. Singer and Soumitra Sharma (eds.), <i>Economic Development &amp; World Debt</i> . Macmillan.
1989年9月	「世界システムの転換—アメリカと日本—」	商経学会誌 第8巻第1号 (日本文理大学)

## 訳書

1958年10月	マルクス『経済学批判要綱』 (高木幸二郎監訳) 第I分冊 (序言)	大月書店
----------	--------------------------------------	------

1964年12月 第Ⅳ分冊 (リカードーについての1850/1851年のノートから、リカードーの体系についての書きこみと抜萃 1851年3月~4月) 大 月 書 店

書 評

1965年 5 月 宮本義男『金融資本への道』ミネルヴァ書房 経 済 理 論 第 85 号 (和歌山大学)

1966年 5 月 21 日 麓健一『貨幣論』有斐閣 図 書 新 聞

1970年 11 月 24 日 三宅義夫『マルクス信用論体系』日本評論社 エ コ ノ ミ ス ト (毎日新聞社)

1971年 3 月 15 日 渡辺佐平編『インフレーション理論の基礎』日本評論社 日 本 読 書 新 聞

1972年 1 月 飯田裕康『信用論と擬制資本』有斐閣 世 界 経 済 評 論

1972年 7 月 スタドニチェンコ/山中豊国訳『国際通貨危機論』ミネルヴァ書房 ミ ネ ル ヴ ァ 通 信

1973年 7 月 17 日 伊藤誠『信用と恐慌』東京大学出版会 エ コ ノ ミ ス ト (毎日新聞社)

1974年 3 月 松井安信『マルクス信用論と金融政策』ミネルヴァ書房 ミ ネ ル ヴ ァ 通 信

1975年 2 月 11 日 川合一郎『管理通貨と金融資本』有斐閣 エ コ ノ ミ ス ト (毎日新聞社)

1978年 12 月 井田啓二『国債管理の経済学』新評論 世 界 経 済 評 論

1979年 3 月 下平尾勲『信用と景気循環』新評論 商 学 論 集 第 47 卷 第 4 号 (福島大学)

1982年 10 月 岩野茂道監訳・現代国際金融研究会訳『プリンストン大学国際金融論集2 ドル本位制と変動相場制』関西書店 経 済 評 論 (日本評論社)

1984年 10 月 岩野茂道『金・ドル・ユーログララー』文真堂 週 刊 東 洋 経 済 (東洋経済新報社)

1986年 1 月 及能正男『国際金融読本』経済法令研究会 金 融 ジ ャ ー ナ ル (金融ジャーナル社)

1986年 7 月 20 日 草野厚『昭和42年5月28日 山一事件と日銀特融』日本経済新聞社 西 日 本 新 聞

1986年 10 月 20 日 後藤新一『日本短期金融市場発達史』日本経済評論社 金 融 財 政 事 情 (金融財政事情研究会)

1987年 1 月 10 日 S・ポールズ, D・M・ゴードン, T・E・ワイスコフ/都留康・磯谷明德訳『アメリカ衰退の経済学』東洋経済新報社 西 日 本 新 聞

1987年 3 月 佐合紘一『企業財務と証券市場 - アメリカ株式会社金融の成立 -』同文館 証 券 経 済 第 159 号 (日本証券経済研究所)

1990年 11 月 20 日 向壽一『現代日本企業と多国籍総合金融機関』同文館 エ コ ノ ミ ス ト (毎日新聞社)

## 辞典

- |          |   |                                    |
|----------|---|------------------------------------|
| 1965年9月  | 「鑄造貨幣(鑄貨)」 「法貨」<br>「補助貨幣(補助貨)」<br>「本位貨幣(本位貨)」                 | 『経済学辞典』 大阪市立大学<br>経済研究所編<br>岩波書店   |
| 1970年4月  | 「トウク」   | 『社会科学大辞典』<br>鹿島出版会                 |
| 1979年6月  | 「公信用」 「信用制度」<br>「鑄造貨幣(鑄貨)」 「法貨」<br>「補助貨幣(補助貨)」<br>「本位貨幣(本位貨)」 | 『経済学辞典第2版』<br>大阪市立大学経済研究所編<br>岩波書店 |
| 1979年4月  | 「金融市場」 「金利体系」 「中央銀行」  | 『大月経済辞典』<br>大月書店                   |
| 1980年11月 | 「貨幣市場と資本市場」   | 『現代マルクス=レーニン主義<br>事典』 上<br>社会思想社   |

## 調査報告

- |         |                    |          |
|---------|--------------------|----------|
| 1986年3月 | 『金融革新と地方金融機関』 (共著) | 九州郵政局保険部 |
|---------|--------------------|----------|

## シンポジウム

- |         |                    |   |
|---------|--------------------|---|
| 1988年4月 | 「アジア諸国の都市間交流を考える」  | アジアシンポジウム福岡'86,<br>'87リポート<br>アジアシンポジウム福岡実行委<br>員会編<br>西日本新聞社 |
| 1988年4月 | 「アジアへのアプローチ法を探る」   | 同 上   |
| 1988年4月 | 「国際交流拠点都市・福岡を目指して」 | 同 上   |
| 1988年7月 | 「アジアシンポジウム福岡について」  | アジアシンポジウム福岡'88報<br>告書 福岡市<br>福岡国際交流協会,<br>西日本新聞社              |
| 1988年7月 | 「アジア, 日本そして福岡」     | 同 上   |
| 1989年7月 | 「アジアシンポジウム総括報告」    | アジアシンポジウム福岡'89報<br>告書 福岡市<br>福岡国際交流協会<br>西日本新聞社               |

## 新聞その他

- |            |                                  |               |
|------------|----------------------------------|---------------|
| 1970年6月9日  | 「米価据え置きは所得政策か」                   | 西日本新聞 (夕刊)    |
| 1971年9月21日 | 「合併ご破産の教訓」                       | 西日本新聞         |
| 1973年12月1日 | 「どう見る石油危機」                       | 九建日報          |
| 1981年2月28日 | 「複数基軸通貨は可能か—世界のカレンシ<br>ー・マップを探る」 | 朝日新聞 (夕刊・文化欄) |



1981年4月30日	「銀行法改正の問題点」	西 日 本 新 聞
1981年12月2日	「金融学会の討論を聞いて—うねる金融自由化の波・国内変革テンポ速まるか—」	西 日 本 新 聞
1982年8月20日	「経済白書を読んで」	西 日 本 新 聞
1985年7月	「東京市場国際化への条件を考える」	金融ジャーナル 第26巻第7号
1987年8月	「アメリカの『債務国』化と国際金融システムの行方」	九 大 学 報
1987年10月13日	「情報センター設置を」	西 日 本 新 聞
1987年12月	「自己資本充実への具体策を考える」	金融ジャーナル 第28巻第12号
1990年5月	「ドル・システムと金融資産の異常な膨張」	九 大 学 報
1990年9月15日	「シャーマさんからの手紙」	九 大 学 生 新 聞
1990年8月	「私と金融ジャーナル—現実への接近を求めて—」	金融ジャーナル 第31巻第8号